

開講科目名 Course	租税法研究演習 2 年（村上先生） / Seminar on Tax Law
時間割コード Course Code	18023
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	土 / Sat 1
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	2,3,4
主担当教員 Main Instructor	村上 正城
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	4 3 演習室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	村上 正城（法学研究科修士課程）
授業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の作業スケジュールに基づいた修士論文の完成 ・ ゼミ及び論文執筆を通じた租税法に関する専門知識の習得 ・ 税理士として論理的に考え、適切に表現できる能力の向上
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修士論文の完成に向けた作業 ・ 毎週の水曜日までに進捗の報告 ・ ゼミでの各自の論文テーマに関する発表および協議
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修士論文の完成度合い ・ ゼミへの参加態度および論文執筆への取り組み状況
教員の指導に従わない以外の事由 による失格基準	・ 特になし
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月：研究計画書の完成 ・ 5 月：論文構成（案）の完成 ・ 第一回中間発表会 ・ 6 月～10 月：初稿に向けた作業 ・ 第二回中間発表会 ・ 11 月～12 月：最終稿に向けた作業（年内最終ゼミまでに論文の完成） ・ 年末年始での論文の読み直し ・ 1 月：修士論文の仕上げ、精緻化
テキスト	・ 各自の論文テーマに即したもの
参考書	・ 研究テーマに応じたもの
アクティブラーニング、ディスカ ッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカ ッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授 業	該当する
担当教員の実務経験を活かした授 業の内容	・ 租税法論文の作成のため、実務経験よりも論文の仕様や書き方、法令解釈を重視
質問への対応方法	・ 適宜、対応
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜、対応 ・ 事前にスケジュールを協議の上、原稿レビューの実施
予習・復習等、準備学習の内容及 び時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早い時期からの執筆作業の開始 ・ 週 3 本の読込カードの作成 ・ 継続的な（毎日の）論文作業の実施

使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	